

令和7年度（2025年度）事業計画書（案）

川西市立総合医療センター
＜令和7年4月1日～令和8年3月31日＞

川西市立総合医療センター 事業計画書
＜令和7年4月1日～令和8年3月31日＞

1. 基本方針

①病院理念・基本方針

■病院理念

○良質な医療の提供を通して地域社会に貢献します。

■基本方針

1. 患者さんの立場に立ち、誠実であたたかい医療を実践します。
2. 安全で良質な医療水準を確保し、信頼と満足が得られる病院を目指します。
3. 他の医療機関と連携し、地域医療の貢献に努めます。
4. 健全な病院経営を目指し、安定した医療提供を実践します。
5. 職員が満足できる病院づくりに努め、地域医療に貢献できる医療人を育成します。

②社会医療法人化

◇社会医療法人認定を目指します。

川西市立総合医療センターの管理・運営をしていくにあたり、社会医療法人化に向け準備を進めております。

2. 地域ニーズに応じた診療体制

①入院機能 病棟編成

◇病床数 405床

◇1日あたり想定患者数 370.0人

◇1日あたり入院診療単価 67,770円

◇病棟編成

3階HCU（急性期：20床）高度治療室

4階西病棟（急性期：42床）

4階東病棟（急性期：43床）

5階西病棟（急性期：42床）

5階東病棟（急性期：43床）

6階西病棟（急性期：42床）

6階東病棟（急性期：43床）

7階西病棟（急性期：39床）※内、SCU3床（脳卒中集中治療室）

7階東病棟（急性期：42床）

8階病棟（急性期：49床）※内、新生児4床

②外来機能

◇1日あたり想定患者数 645.9人

◇1日あたり外来診療単価 15,400円

◇診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、神経内科、ペインクリニック内科、感染症内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、皮膚科、精神科、救急科、麻酔科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、

◇連携診療部門

循環器センター、消化器センター、脳卒中センター、周産期センター、乳腺センター、糖尿病・生活習慣病センター、オンコロジーセンター、人工関節センター、生殖医療センター、救急センター、内視鏡センター、急性期リハビリテーションセンター、IBD(炎症性腸疾患)センター

◇診察日・受付時間

診 察 日：月曜日～土曜日（祝日を除く）、※土曜日は専門外来のみ

受付時間：午前8時30分～11時30分

③地域医療連携

- ・PSC（患者支援センター部門）において、紹介及び逆紹介患者への迅速な対応や開放病床の利用促進など、登録医や地域医療機関との連携をより強化いたします。
- ・PFM（patient flow management）の本格的な導入を行い、患者さんの入院前あるいは直後から病状に応じて治療計画を立て、退院・転院まで視野に入れて患者支援を行います。更に患者相談体制を充実し、入院から退院・在宅への移行が円滑に行えるよう、回復期や慢性期医療機関、介護施設、在宅医との連携を強化いたします。

④救急医療

- ・救急科において救急初療室を4床確保し、各専門診療科との連携を密に行い、救急患者の受け入れ体制を高水準のまま維持いたします。
- ・兵庫医科大学病院等の3次救急医療機関との連携強化を継続します。
- ・救急科、循環器内科、脳神経外科、小児科及び外科において救急ホットラインの運用を強化いたします。
- ・ドクターカーの運用を継続いたします。

⑤小児医療

- ・ 阪神北圏域小児救急2次輪番病院として、1次救急の「阪神北広域こども急病センター」、3次救急の「県立尼崎総合医療センター」との連携を図り、小児救急患者の受け入れに対応いたします。

⑥周産期医療

- ・ 安心して出産が出来るよう産科PR動画を活用するほか、要望に応じて無痛分娩を実施いたします、また第二協立病院と連携し、不妊診療体制の充実を継続します。

⑦5 疾病医療

・ がん

兵庫県がん診療連携拠点病院に準じる病院として、がんの予防・早期発見から集学的治療まで、総合的ながん医療体制を強化します。なお、PET検査、放射線治療などについては、患者にとって最適な治療を受けることができるよう、高度専門病院との連携・紹介等を通し、地域医療のハブ的役割を担います。

・ 脳卒中

脳卒中や外傷などの急性期の診断から治療、急性期リハビリテーションまでの高度かつ総合的な急性期脳卒中医療への対応を強化します。

・ 急性心筋梗塞

入院治療を要する患者の治療管理等、内科的治療を行います。なお、心臓血管外科領域については、周辺の専門医療機関との連携強化によって医療体制の充実を図ります。

・ 糖尿病

糖尿病診断、患者教育、糖尿病合併症診断および他診療科との連携による糖尿病合併症の集学的治療を行います。なお、透析については、導入透析の対応を行い、維持透析については、地域医療機関（かかりつけ医）と連携しながら治療を行います。

・ 認知症

精神疾患以外の入院・外来患者で認知症を合併した患者への対応を行います。なお、上記以外の患者は原則、専門病院と連携し、診療体制の充実を図ります。

⑧手術支援ロボットの導入

- ・ 患者負担軽減等に向けて、手術支援ロボットを導入するとともに、医師等のトレーニングや資格取得などを行い、令和8年度の稼働を目指します。